

Kanpuku News

2024 Spring

関複ニュース No.

6



事務局の下から…見上げた空。(写真提供：渡邊浩財子氏 事務局)

- 巻頭言 関複理事 早坂 淳
- PP事業 HPに掲載！【連載】取得後、どう変わった？
- 関複 令和5年度第11回・12回定例理事会報告
- 事務局から 新体制について
- 連載 事業承継問題 第4回「失敗事例から学ぶ事業承継」
- 個人情報保護方針「神田先生の質問回答コーナー」



関東複写センター協同組合

RICOH BUSINESS BOOSTER

私たちは“仕事を創る”、“仕事を回す”、“仕事が見える”の3つの視点から、
印刷事業者のビジネス拡大をさらに支援するための活動

『RICOH BUSINESS BOOSTER』を推進しています。

お客様ごとの課題に真摯に向き合い、

時には共創活動を通じて新たな価値を生み出しながら、

それぞれの解決策を導き出していきます。

印刷事業者の“真”のパートナーとして、

前例にとらわれない新たな答えを創りだす。

『RICOH BUSINESS BOOSTER』は私たちリコー日本の
新たなビジネスコンセプトです。

「天災は忘れた頃にやってくる」 ～あれから13年～



関東複写センター協同組合
理事 早坂 淳

東北の大地震

当時、私は九州から飛行機で羽田空港に到着した時でした。

空港内は大勢の方達が大騒ぎで、私は地下鉄で帰社する予定でしたので、地下の鉄道に乗車するまえに喫茶店で軽くコーヒーを飲んでいました。

その時、いきなり店内が大きく揺れ、テーブルの上のコーヒーカップなどがこぼれるほどの状態でした……。同席していた女性や周囲の人々が声を上げ、パニック状態でした。思わず『落ち着いて！落ち着いて！』としか言えませんでした。

その後、地上に上がろうと思いましたが、エレベーターは既に止まり、階段が混雑していたので、止まっているエスカレーターを駆け上がりました。羽田空港の地下から地上までのエスカレーターは、ビルの4階へ上がる程の高さがあります。地上では大勢の人達が『どうしたら良いんだ！』『どうするべきなんだ！』と集まって、解決方法を雑談していました。

私はタクシーで直ぐに会社のある日本橋まで乗車をしましたが、高速道路は既に閉鎖されていたので一般道で向かいましたが、一般道も大渋滞で本来であれば30分くらいで到着できるのに、まったく車が進むことが出来ず4時間くらいで、やっと芝公園……。運転手さんに

交渉をして浜松町で下車し、徒歩で日本橋へ。流石に銀座8丁目で一休みすべく、馴染のクラブに顔を出すと、店員さんが『あっ！社長！地震で大変な事になってしまって本日は休店させて貰います！』『わかっているよ！一休みしたくて、ちょっとお茶でも頂こうと思ったんだよ！』

その後、銀座8丁目から日本橋まで徒歩で帰社。社員は各班に分かれ、社用車で帰宅していました。あの時に起きた事故、経験は私の人生の1ページとして決して忘れる事は無いでしょう。

あの経験から、近年起きた石川県の震災などの被害、復興作業などの大切さを、同じ国で土地で、同じ生活をしている私も含めた皆さんにも解って貰いたいと思います。



個人情報保護体制認定制度 PP (プライバシーポジション) について

PP 事業部長：朝香 雅文

関東複写センター協同組合

HOME 組合情報 事業について 加盟企業 お問い合わせ 入会案内

プライバシー・ポジション認証取得事業

HOME / プライバシー・ポジション認証取得事業



プライバシーポジション (情報産業個人情報保護体制認定制度) とは、複写業を営む事業主が個人情報を保護する体制が確立していることを認定する制度です。



認証制度の背景

私たち複写業界では、個人情報も含め情報処理を産業とし、情報の取り扱いには専門家の責任とプライドによって慎重に取り扱ってまいりました。また、各社において全社員に対する個人情報の取り扱いに関する基礎知識の習得や管理体制の整備を進めておりました。しかしながら、各社の社員教育・管理体制が独自の基準となっており、統一されたものではありませんでした。そこで、複写業界として個人情報保護の体制に一定の基準を整備し、安心・安全な製品・サービスをお客様に提供することを目標に「情報産業個人情報保護体制認定制度 (PP: プライバシーポジション、以下「PP」という。)」を設けました。

PPは、対外的に高い評価が得られ各複写業界で実績のある「個人情報保護体制認定制度」に加盟し、複写業界の特殊性・独自性を加味したものであります。その内容は高い基準での管理体制等の整備の証明であり、法律施行の目的及びガイドラインの内容を十分に理解されていることの認定となっております。



認証取得までの流れ

研修セミナーを受講後、所定の申請書類を作成し、組合事務局に提出。組合事務局で書類を確認後 (株) ネットステージビジネスコンサルティングに提出。

(株) ネットステージビジネスコンサルティングは「ヒアリング調査」を行い、認定審査会を開催し認定を決定。

[詳しく見る](#)



認定の基準について

プライバシーポジションは、「個人情報の保護に関する法律・同法施行令」に基づき、「個人情報取扱事業者義務等」の法的要件を満たし、さらに「個人情報保護マネジメントシステム: JISQ15001:2006」の要求事項に適合したシステムを全事業所に確立し、維持し、実施し、かつ改善されていること。

[詳しく見る](#)



認証の有効期限

認定の有効期限は2年間。

更新は、更新申請書を組合事務局経由で (株) ネットステージビジネスコンサルティングに提出し、(株) ネットステージビジネスコンサルティングの「ヒアリング調査」に合格し、認定の更新を行います。更新のためには、毎年1回関東複写センター協同組合が行う更新のための研修セミナーに参加する必要があります。

皆さん、このページをご覧になったことはありますか?!

当組合ホームページのPP (プライバシーポジション) の解説をしているページです。

2009年にスタートした複写業独自の個人情報保護体制認定制度ですが、今では、全国各地に浸透し反響を呼んでおります。今後、日常業務に活用していただけるように、当組合のホームページをリニューアル、パンフレットの作成をして

おります。今後は、ホームページより申請書 (【様式1】～【様式4】・教育実施報告書) をダウンロードできるよう検討しております。以前「月刊関複」(前機関誌) で連載しておりましたPP (プライバシーポジション) を習得された企業様の声を再度復活し、いかにこの取り組みが大切なのか、各企業様の取り組み方、事例、認証を受けよう変わったか等、このSpring号より配信して参りたいと思います。

プライバシーポジション認証取得後どう変わった？
今回は、東京都足立区の株式会社アイワコピー様を紹介します。

プライバシーポジション認証取得の経緯

株式会社アイワコピー

弊社はプライバシーポジション (PP) 認証取得から約 10 年が経過しました。

弊社では PP 取得に先立って「P マーク」を取得していましたが、その始まりは仕事受注に役に立つとの思惑からでした。ただ取得には相当な費用と時間と労力を費やし、取得後はまさに「たいへん」という思いが残った取得であったと記憶しています。

さらに数年後の更新では P マークの団体から 1 日ばかりで書類のチェックとヒアリングがあり更新費用も高額だった為、こんな事が数年に一度あるのでは更新は今回 1 回限りで止めてしまおうかとの考えを持っておりました。そんな折に、PP の認証制度があることを知り、「P マーク」から乗り換える形で PP 認証を取得いたしました。

アイワコピーでの取り組み

毎年のように発生する個人情報漏洩のニュースで、有名な企業や公共団体の名前が流れておりますが、弊社でも他山の石として、お客様から個人情報をお預かりした際は、「お客様の秘密情報」を預かったとの認識をして、利用後は速やかに返却すること、適切に保管・廃棄することを社員に呼び掛けております。特に営業が受注する案内状の印刷では一回に何百もの個人情報を預かる事



があるので取り扱いには慎重になりますし、発送の代行を頼まれた際は印刷物の扱いも注意しております。

個人情報重要であるとの考えは、世間では以前と比べると格段に高くなってきていますが、その反面、詳しくは知る機会はあまりなく、年に一度の更新講習会で学習することは私にとって貴重な機会です。講師としてお世話になっている神田さん作成のテキストを読んで最新の情報を得られることはとても勉強になります。後日、講習会でいただいたテキストと問題集を社員に配布してテストを行っており、面倒に思う社員もいますが、避けては通れない行事として必ず回答を提出するようにしています。

また、PP 更新時には社員に「秘密保持の誓約書」と「個人情報の利用の同意書」に名前を書いて提出してもらっています。

プライバシー保護や個人情報保護法の改正は私たちの仕事や・生活・社会に影響を及ぼして行くことは明らかです。日々のニュースにアンテナを張り、漏洩事故などは他人事とは思わずに意識を高く持っていかなくてはいけないと考えております。

加えて年に数回ですがマイナンバーを扱う事がありますので、社内の事務作業も注意深く進めるようにしております。

株式会社アイワコピー

代表 松岡 豊

〒123-0845 東京都足立区西新井本町 2-27-15

TEL : 03-3854-1349

e-mail : mail@aiwacopy.jp

関複「第51期通常総会」開催のお知らせ

6月6日16時から、『第51期通常総会』が開催されます。

今期は役員改選が行われます。詳しくは右記をご覧ください。



昨年の総会のようす

◎関複『第51期通常総会』

日時：2024年6月6日(木) 16時～

会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

(〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町8番地 TKP市ヶ谷ビル)

議題：2023年度事業報告および収支決算
2024年度事業計画および収支予算
役員改選について
理事後継者について／ほか

『第10回関複オープンゴルフコンペ』 開催のお知らせ



会員交流推進部では来る5月25日、千葉県市原市の「立野クラシック・ゴルフ倶楽部」で『第10回 関複オープンゴルフコンペ』を開催します。同ゴルフ倶楽部は、なだらかな地形に美しい景観を見せ、各ホールはスリリングなプレーが期待できます。5組予約しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。お申

し込みは事務局まで (TEL.03-3815-4338 / E-mail info@kfcc.or.jp)。

◎『第10回関複オープンゴルフコンペ』

日時：2024年5月25日(土)

9時8分 IN スタート

場所：立野クラシック・ゴルフ倶楽部

(〒290-0242 千葉県市原市中高根1166)

「リアルな場」と「オンライン」をつなげる参加型コンテンツ！！
集客やその場で楽しんでもらうコンテンツとしてだけでなく、
参加者をWeb・オンラインに誘導する手段として活用いただけます。
参加者による自発的なシェア・拡散も期待できます。



詳細はこちら

<https://rdc.ricoh.co.jp/product/ugokustamp/>



Canon

drupa 2024
「キヤンブース」のご案内

THE POWER
TO MOVE

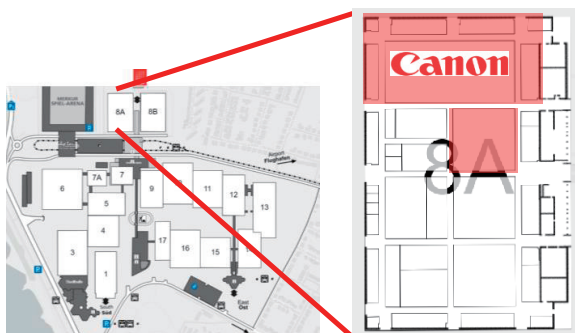


世界最大の印刷機材展drupa 2024が、5/28(火)～6/7(金)にドイツにて開催されます。キヤンブースでは、“THE POWER TO MOVE”をテーマとして、商業印刷、プロモーション、出版・書籍、ラベルとパッケージのソリューションに焦点を当てたキヤノンのポートフォリオをご体験できます。

ご来場の皆様が数年後のビジネスの姿を想像しながら、最新のテクノロジーをどのように活用し、そしてビジネスをどのように前進させるかを考えていただける場をご提供し、持続可能な成長をしていくための“THE POWER TO MOVE”をご紹介します。

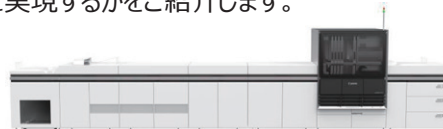
■ 出展場所

今回も“ホール8A”で皆さまのご来場をお待ちしております！



■ 出展機器

初公開となる最新型B3枚葉インクジェット機“varioPRINT iX1700”と、ロール給紙型インクジェット・ラベル印刷機“LabelStream LS2000”の初出展に加え、アライアンスパートナーとキヤノンとの自動化ソリューションにより、持続可能な成長に必要な効率性、柔軟性、品質をどのように実現するかをご紹介します。



“varioPRINT iX1700”



“LabelStream LS2000”

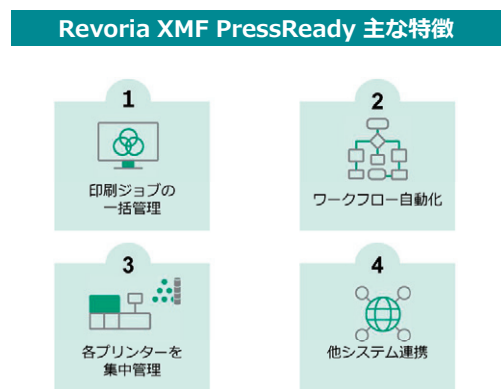
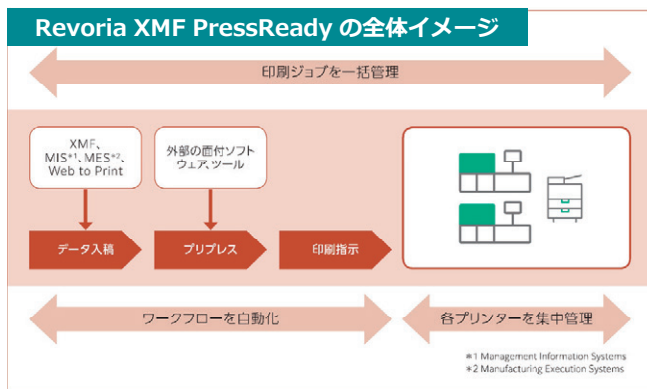
* 出展内容は変更される場合がございます

■ お問い合わせ： キヤノンマーケティングジャパン株式会社
商品企画本部 担当：吉岡 TEL.080-5867-8591

デジタル印刷工程の一括管理ソフトウェア 「Revoria XMF PressReady 1.0」を発売

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：浜直樹）は、デジタル印刷工程を一括管理するソフトウェア「Revoria XMF PressReady 1.0」を発売しました。

「Revoria XMF PressReady 1.0」はデジタル印刷のデータ入稿からプリプレス、印刷、各プリンターの状態までを一括管理するソフトウェアです。ワークフローの自動化処理により作業を省力化するとともに、人為ミスを削減します。お客様の運用に合わせた設定が可能で、多品種・小ロット・短納期の案件にもより柔軟・スピーディーに対応できます。各プリンターを集中管理することで、オペレーターが各機器へ足を運ぶ頻度を減らし、作業の効率化が可能です。



1. 印刷ジョブの一括管理

入稿から出力までの工程を①受信ジョブ、②ワークフロージョブ、③印刷待ちジョブ、④プリンタージョブの4つに分けて印刷ジョブを一括管理します。複数台のプリンター向けの印刷ジョブを一覧表示、操作できます。検索やソート機能を使用して、ジョブの絞り込みができます。



2. ワークフロー自動化

ドラッグ＆ドロップの直感的な操作で、ジョブ処理の流れ（ワークフロー）を組み立てられます。専門家でなくても簡単に、デジタル印刷ワークフローの設計、自動化が可能です。



3. 各プリンターを集中管理

複数台のプリンターを一覧表示し、予測完了時間およびプリンターの状態（印刷中/待機中など）、セットされている用紙名、トナー残量などをリアルタイムで確認でき、不意の印刷停止の抑止に役立ちます。より詳細な情報は、各プリントサーバーの管理画面「Print Station for Web」を呼び出して確認できます。



4. 他システム連携

- ・FUJIFILM WORKFLOW XMFで作成した印刷ジョブを「Revoria XMF PressReady 1.0」を通じてデジタルプリンターに転送することで自動化を図るとともに、再出力などの指示や各プリンターの集中管理を行うことができます。
- ・印刷業界標準のJDFや、CSV形式で受注した情報をRevoria XMF PressReadyに取り込むことができます。
- ・Web to Printシステム等と連携でき、既存の業務フローを変えずに印刷業務を自動化できます。

富士フイルムビジネスイノベーションは、豊富な商品ラインナップや専門知識を持った営業スタッフ、さらに充実の保守サポート体制により、お客様の印刷ビジネス拡大に貢献します。

※ 掲載されているサービス、商品名等は各社の登録商標または商標です。

令和5年度 定例理事会 報告

第11回定例理事会 2月8日開催

場所：関東複写センター事務局、Zoom ハイブリッド

【各部会の活動について】

▽会員交流推進部

◎ 創立50周年記念式典祝賀会収支報告が、森迫 隆正実行委員長よりあった。

◎ 今後、ゴルフなど会員の交流を深められる企画を考えていく。

▽広報企画部

◎ 「Kanpuku News」 Spring号（4月発行）について、2月下旬～3月上旬に編集打合せを行う。

▽PP事業部

◎ 1月30日13時30分～ 神田幸男先生・朝香雅文理事が打合せを行った。

① 個人情報保護管理責任者及び教育担当者

対象の研修会について

研修会には、参加の方向がよいのではないかとのこと。

② 更新手続き（期限切れ延長特例）について
延長特例は、認定の意味がなくなるため認めない。提出期限が切れた場合は、新規同様扱いになる、と回答。

③ 講習会日程

9 / 25(水)・10 / 8(火) 宇都宮地区(いずれか)、9 / 28(土) 北海道地区、10 / 5(土) 名古屋地区、10 / 19(土) 東日本地区：仙台、10 / 23(水)・11 / 15(金) 東京地区：文京シビックセンター

第12回定例理事会 3月14日 開催

場所：関東複写センター事務局、Zoom ハイブリッド

【審議事項】

◎ 事務局渡邊氏退職に基づき今後の流れについて

米田理事長が、6月から事務局長としてシフトする。経理・財務は外注に任せる（シニア経理財務）。引き継ぎは、3月22日（金）に1日かけて派遣とともに経理作業をする。引継ぎの内容を、米田理事長が理事へ周知。

◎ 創立50周年記念品（マグカップ）見積もりの件

組合員の46社分。配送の手配も依頼できるかを確認する。明細が分かり次第、周知する。創立50周年の記念誌作成については保留。

【各部会の活動について】

▽会員交流推進部

◎ 第10回関復オープンゴルフコンペ開催について

ゴルフコンペは、立野クラシック・ゴルフ倶楽部で、令和6年5月25日（土）9時8分INスタート。5組を予約済で、3月25日

(月)に開催の案内を周知する。

▽広報企画部

◎「Kanpuku News」Summer号以降について
・Spring号では、情報ビジネスリコー会他、他団体からの記事を掲載する。今後も続けていきたい。

▽教育情報部

◎新入社員を入れる企業様向けの小冊子（ビジネスマナー）について

執筆：坪田まり子氏（大学准教授）は、かなり便利なのが書かれており、購入し組合員に周知または配布したいという案が出された。

▽PP事業部

◎1～3月中旬までに「教育実施報告書」を提出して更新済みの企業は、42社中39社。残りの3社には連絡済。

【その他】

◎全共済(生命共済)の件:共済(14社98名)、特定退職金制度(5社14名)

◎「第51回定期総会」について

日時：6月6日(木)

場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

議題：2023年度事業報告および収支決算／2024年度事業計画および収支予算／役員改選／理事後継者についてほか



理事会のようす

事務局からお知らせ

事務局員退職及び今後の事務局体制について

日頃は組合事業にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

おかげさまで50周年祝賀会も滞りなく開催することができました。

つきましては、まことに急ではございますが、事務局の渡邊が家庭の事情で3月末をもって退職することになりました。この間、多岐にわたり組合運営を支えていただき、内外ともに評価が高かっただけに残念ではありますが、本人の事情を第一に考えて先週の理事会にて受理いたしました。

今後の事務局運営は、現理事長 米田和秀が引継がせていただきます。実務については未経験ですが、幸いアウトラインは把握しておりますので、6月の通常総会に向け、3月決算の完遂、経常業務の円滑処理、PP更新管理など停滞なきよう

に引継ぎを進めています。

会員の皆様にはご迷惑をおかけしないよう進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

尚、当面事務局営業日時は以下の通りとさせていただきます。

【事務局営業日時】

平日：9時00分～17時00分

水曜日：13時00分～17時00分

(時間外並びに業務外出の折には、留守電対応となりますが、外出先からリモートで確認が可能ですので、極力速やかに返答させていただきます)

緊急時連絡先：090-3208-5551

(米田携帯)

業界の動き

第49回定時総会・新春懇親会

情報ビジネスリコー会

情報ビジネスリコー会（JBR）は1月10日、ホテル椿山荘東京で「第49回定時総会・新春懇親会」を開催。29社42名が出席しました。今年で49年目を迎え、来年には節目の50期を迎えます。



北島会長

第一部定時総会の冒頭、北島雄二会長は「今年の干支は甲辰。これまで準備してきたことが役に立つという、大変縁起のよい年であります。今年こそ、仕事が出て来てくれるだろうと期待しております。今起きている大きな変化としてAIの進化が挙げられます。AIの進化には不安も伴い、特に仕事の一部がAIに取って代わられる可能性があります。しかしながら、人間だけが対応できる仕事も残り、人間とAIの共存が重要です。最後に、JBRが他社と連携を強め、変化を取り入れて発展を目指します」と挨拶しました。

第二部新春懇親会は、恒例の鏡開き。北島会長・山内理事・猪熊執行役員・中村副会長・長田副本部長が登壇。山内理事が「年



明けから悲しい出来事が続きましたが、辰年なので悪い流れを断つという願いを込めたいと思います。乾杯！」との乾杯発声で、開宴となりました。

タキネットの園田社長が「1人ひとりが危機意識を持ち、会社も社員の方の命を守る万全の対策を取る必要があります」と中締め挨拶。中村副会長がJBRの更なる発展と各社の活躍を祈念し、三本締めで締めくくりました。



東京グラフィックサービス工業会「2024年新春賀詞交歓会」に参加

理事長 米田 和秀

（公社）東京グラフィックサービス工業会（原田大輔会長）は1月15日、東京都台東区の

東天紅上野本店で「2024年新春賀詞交歓会」を開催しました。200名以上の参加者で大変な

賑わいでした。当組合からは米田理事長と早坂広報部長が来賓として参加。受付横には豪華抽選会の賞品パネルが飾られ、希望賞品に投票するという独自のスタイル。抽選会への期待度を高める粋な企画です。

会場に入ると、着席式の来賓席を中央に配し、両ウイングは立食式の会員席と来賓もてなしが徹底しています。（正直言うと両側からの視線が気になりますが……）

久しぶりの参加でしたが、顔なじみも多く緊張もほぐれ、特に早坂理事の席には、多くの会員が挨拶に参上されました。

オープニングは、小池都知事のビデオメッセージ。その後歓談となりましたが、6月開催される「第66回ジャグラ文化典広島大会」のプレゼンテーションが大会実行委員長からありました。大変興味深そうな内容なので是非当会から



も参加協力していきたいです。

引き続き大抽選会で盛り上がり、宴もたけなわでしたが、中村盟副会長らが登壇し中締めされお開きとなりました。



小池都知事のビデオメッセージ



東京ドキュメントサービス協同組合「情報交換会」に参加して

副理事長 松岡 豊

令和6年2月9日(金)、東京ドキュメントサービス協同組合主催の「情報交換会」を満月廬にて開催され、ご招待を頂きました。

組合員、賛助会員17名が集まり、理事長様のご挨拶から始まり、組合の活動状況等について積極的な情報交換が行われました。

情報交換を通じて、組合間連携の促進に貢献したいと考えております。大変、貴重な時間を頂くことが出来ました。



連載

事業承継問題

〈第4回〉失敗事例から学ぶ事業承継

株式会社日本工業社 会長：米田 和秀（関東複写センター協同組合理事長）



米田理事長

■はじめに

今回は、私がコンサルとして関わった企業の事例です。偶然ですが2社とも実娘への承継です。女性進出の時代ですので大いに期待できる存在ではありますが、まだまだ事例としては少ないですね。父娘問題では、大塚家具やスノーピークの例が有名です。今回の場合も譲る側の覚悟と受け入れ方法に問題がありました。結果B社はしっかりと後継者経営ができていますが、A社は残念ながら二転三転し、社員承継に変更したものの、それも頓挫しています。現状とその原因をできる限りご紹介します。

■息子には厳しすぎ、娘にはやさしすぎる

後継者育ては先代育てと言っても過言ではありません。後継者に男女の差はないはずですが、トラブルが発生したときに娘には強く言えない先代が多いようです。逆に息子には強すぎる場合があります、それがきっかけで退社してしまう例も多いのです。

■親子の会話を会社に持ち込まない

弊社の場合は、親子の議論は二人だけで行うルールを作りました。公私混同になりがちだからです。今回の事例でもあるように会議の席で親子喧嘩が始まり、周囲は立ち入れないばかりか将来に不安を感じてしまうからです。蔓延すると会長派、社長派など派閥問題に発展し、経営に大きな支障を与えてしまうのです。

類似例として、中小企業では兼務が多いですよ。私の場合も社長兼新規事業部長の時期がありました。今の自分の発言はどの立場で言っているのかを自己確認していないと混同してしまうことがかなりありました。

■創業社長にありがちなお手盛り経営

A社社長は、「会社は社員のもの、みんなが楽しく働けることが自分の幸せ」と常に語っています。ところが、一方でお手盛りの行動が目立っていました。気に入った社員に高額ではないが、プレゼントを公然と渡してしまうのです。そして「あなたは好きだけど〇〇さんは、お礼も言わないから嫌い」と口に出してしまうことが多発しました。受け取った社員もいつかは自分もそうなるのではと嬉しさも半減してしまうことになってしまったのです。そのクレームはS専務に溜まりに溜まり社長に改善を求めたのですが、抑えるどころか、水面下で行われるようになり、收拾がつかない状況になりました。

■感謝できない後継者は入社させるな！

中小企業を存続させることは奇跡とも言えるぐらい大変なことです。ところが大企業での修行を終えて入社すると脆弱さばかりが目についてしまうのです。特に組織、リソースなど心細さを感じる後継者は多く存在します。まずは、これまで会社を存続してくれた方々への感謝が大切。それができないのであれば後継者としては失格。このような後継者は最終的には他責癖が治らず、最後は悲しい運命を歩むことになるでしょう。

■A社（フィルム販売）

【会社概要】

- ・創業：1976年10月 ・資本金：1,000万円
- ・経営理念：全ての企業と人を「笑顔」に！

◆父（76歳）

- ・大手フィルムメーカーを退社後、独立。特殊フィルム販売を開始。

◆長女（35歳）

- ・後継者として入社させる。その後結婚。

◆専務取締役（52歳）

【解説】

A 社社長は、結婚当初から夫婦関係が築けず別居状態となりました。関係性は悪くなるばかりで、離婚を申し出ますが、妻は承諾してくれません。周囲にも財産狙いで乗り込んできたなどと漏らしていました。その一方で一人娘に対しては愛情を注ぎ、後継者候補として後継者塾に参加させ、取締役として入社させました。しかし、社員とのコミュニケーションがうまく取れずに一度は退社しました。

後継者の覚悟は与えられるものではなく、試行錯誤を繰り返し積み上げていくものです。

その後 A 社社長は、娘の結婚相手である娘婿を入社させ取締役として登用、娘は監査に就かせました。ところが、知見のあるシステム開発始め社内改革を積極的に進めたものの、幹部との折り合いが悪く、A 社社長は娘婿を解任せざるを得ない状況に追い込まれたのです。結果、娘夫婦から提訴され現在係争中です。

悩んだ末、子飼いの S 専務に社員承継を打診し承諾してくれたのです。慎重派の S 専務は、万一相続が発生した場合、大株主が係争中の娘になることに備え、A 社長の持ち株を早急に移行して欲しいとの条件を提示しました。このタイミングで私がコンサルとして加わることになりました。

私からは、会計事務所立会いの上、A 社長の覚悟を確認しました。はじめは、過半数の株は持ち続けていたいと固辞していましたが、愛する会社と従業員を守る最良の方法であると説得し、株式移行スケジュールを進めました。しかし、次のミーティングで再び株の移行を渋り始めます。そこで強い口調で

- ・後期高齢者を自覚をして欲しいこと。現在も持病を抱えているし、コロナ禍中で万一のことを考えると覚悟を決めて欲しい
 - ・真剣に経営に向き合っている S 専務のやる気を削ぐことはしてはいけません。
 - ・次の時代を築くリーダーとしてエールを送る
- を掲げ、最終的には納得してもらえました。

しかし、後々覚悟ができていなかったのが露呈してきます。

■ B 社（給食受託・レストラン経営）

【会社概要】

- ・設立：1948 年 12 月
- ◆祖父（初代）
 - ・集団給食業務を開始、その後レストラン業務に進出。上京し荒物雑貨店を創業。祖父（2代）、父（3代）と業容を拡大し、現在は四代目。まもなく 100 年企業。
 - ・企業理念：「おいしいしあわせ」を追求し続ける口福創造カンパニーです。
 - ・資本金：2,100 万円
- ◆父（70 代前半）2代目
 - ・大学卒業後、大手外資系ホテルで修行
 - ・1972 年、先代急逝後入社
- ◆長女（40 代前半）
 - ・高校から米国留学
 - ・帰国後外資系金融機関の外部監査業務やコンサルタント業務に従事
 - ・2015 年入社
 - ・2018 年 4 月、先代急逝により社長就任

【解説】

私は先代である父親と法人会やその後事業承継の会員倶楽部を立ち上げ一緒に運営していた心友でした。娘も以前から既知でとても優秀な後継者候補でした。先代は業界柄健康には注意を払っていたのですが、突然すい臓がん発症。そんな中、入社直後の役員会の席で後継者が上から目線で「よくこのような経営でやってこれましたね!」と経営陣に向けての侮辱発言。その場で親子げんかに発展。悩んだ末に、先代の友人の会社に修行に出しました。1 年後、病状が悪化したことで、急遽経営企画部長として復帰します。そして父の急逝。数百名の社員を抱えての承継となりましたが、持ち前の気丈さと多くの応援者に支えられ、事業を拡大、業績を上げている現状です。

■今回は、紆余曲折したものの、この度晴れて事業承継が完了した後継経営者のこれまでの経緯と私からのインタビューをご紹介します。

プライバシーポジションの維持管理に役立つ 神田先生の質問回答コーナー

株式会社コンサルティング・オフィス
代表取締役 神田幸男（中小企業診断士）



「事業者の責務に関する改正」

今回は、令和5年度のプライバシーポジションの維持・更新研修会を終えて、皆様の関心が高かったテーマを掘り下げて解説いたします。

そのテーマは、事業者の責務に関する改正に関しての「個人情報保護委員会への報告の義務化」です。

改正法では、個人の権利利益を害するおそれ大きい安全確保に係る事態が生じた場合に、個人情報取扱事業者から個人情報保護委員会への報告が義務付けられました。なお、報告は発生した場合だけでなく、発生したおそれがある場合も必要です。

〈報告が必要な事態（報告対象事態という）〉

- 要配慮個人情報が含まれる個人データの漏えい、滅失、毀損
例：従業員の健康診断等の結果を含む個人データが漏えいした場合
- 財産的被害のおそれがある個人データの漏えい、滅失、毀損
例：個人データであるクレジットカード番号のみの漏えい
- 不正の目的によるおそれがある個人データの漏えい、滅失、毀損
例：不正アクセスにより個人データが漏えいした

場合

- 個人データに係る本人の数が1,000件を超える漏えい、滅失、毀損
例：システムの設定ミス等によりインターネット上で個人データの閲覧が可能な状態となり、当該個人データに係る本人の数が1,000人を超える場合
- ※「漏えい」とは、「個人データが外部に流出すること」
「滅失」とは、「個人データの内容が失われること」
「毀損」とは、「個人データの内容が意図しない形で変更されることや内容を保ちつつも利用不能な状態となること」をいいます。

漏えい等の報告については、「速報」と「確報」の二段階で行う必要があります。

- 「速報」
報告対象の事態を知ってから「速やかに」（個別の事案によるものの、当該事態を知った時点から概ね3～5日以内）
 - 「確報」
報告対象の事態を知ってから30日以内（不正目的によるおそれがある漏えい等の場合は60日以内）
- ※「速報」等の様式は、個人情報保護委員会のホームページに掲載されています。

『Kanpuku News』表紙掲載写真ご提供のお願い

Kanpuku News では毎月、表紙の掲載写真を理事の皆様のご協力でご提供しております。今後は会員同士のコミュニケーションも含め多くの会員皆様からの投稿をお願いしたいと思います。

題 材：フリー

撮影機材：一眼レフ～スマホ全て可能
※タイトル又は簡単な説明を 30 文字程度付けて下さい

送 付 先：メールにて以下へ送付して下さい
kjun@keyo.co.jp

※写真は横長タイプを推奨します



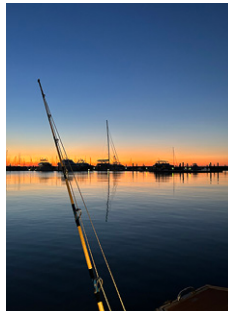
■今月号の掲載写真

事務局の下から…見上げた空。

渡邊 浩財子氏（事務局）



Kanpuku News No.5: 創立 50 周年
記念式典祝賀会 (於 ロイヤルパークホテル)



Kanpuku News No.4: 家令光国氏
横浜朝焼け



Kanpuku News No.3: 渡邊 浩財子氏
渡嘉敷にてスキューバダイビング

関復会員情報

私事で恐縮ですが、このたび、一身上の都合により3月末で退社することになりました。奥付でのご挨拶にて失礼いたします。これまで皆様には大変お世話になり、心よりお礼申し上げます。業務を通して数多くの方から様々なことを学ばせていただきました。

この事務局で培った経験を、今後も活かして参ります。皆様のさらなるご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

今まで、本当にありがとうございました。

事務局：渡邊浩財子

関東複写センター協同組合季刊誌

Kanpuku News

2024 Spring No.6

令和 6 年 4 月 1 日発行

購読料／年間購読 2,000 円（消費税・送料込み）
1 部 500 円（税込み・送料別）

編集発行人：関東複写センター協同組合
広報企画部 Kanpuku News 編集委員会

発行所：関東複写センター協同組合

住 所 〒112-0002

文京区小石川 1-4-12

文京ガーデン ザ ウエスト 704 号室

T E L 03-3815-4338

F A X 03-3815-4357

Eメール info@kfcc.or.jp

U R L http://www.kfcc.or.jp

印刷所：株式会社ケーヨー



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

真の プロダクション 印刷システム



印刷生産機としての実稼働率の向上、より高い品質の印刷物をより確実に、安定して供給。そしてそれらをスキルレスでのオペレーションで実現する。プロダクション印刷システムの基本性能向上に拘った真の生産機、それが、AccurioPress C6100シリーズです。

AccurioPress C6100/C6085

色管理・表裏見当調整を自動化

用紙厚によらず毎分100枚※1の高速出力

受注幅を拡大する400g/m²の厚紙対応力

独自技術を駆使した高画質と色安定性

サービスの多様化を推進するフィニッシャー群

※1: C6100にて、A4ヨコ・52~400g/m²紙時



*写真はC6100にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社 〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

●商品に関するお問い合わせは ☎0120-805039 受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00(土、日、祝日を除く)

<http://www.konicaminolta.jp>

Canon

品質が
雄弁に語る、
現場が求める
一台。



印刷現場が求める、安定性と生産性、
そして高いメディア対応力を発揮。顧客ニーズに
応えた高品質な成果物で、プリントビジネスの
新たな可能性を生み出します。

imagePRESS V1000



©オンデマンドプリンター ホームページ

canon.jp/pod-printer

カタログは、canon.jp/catalogからダウンロードしていただくか、ハガキの場合は、住所、氏名、電話番号を明記の上、〒261-8711千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンマーケティングジャパン(株) カタログ請求 [imagePRESS] 係までお送りください。※カタログ請求を通じてお客様より任意でご提供いただいた個人情報、は、カタログ送付の目的のみに使用いたします。



©キヤノンお客様相談センター

プロダクション向け
複合機

0570-08-0053

(ナビダイヤル) ※おかけ間違いのないようご注意ください。

※ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4392におかけください。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



平日9:00~17:00

(土・日・祝日および年末年始
弊社休業日は休ませていただきます。)

キヤノンマーケティングジャパン株式会社



Revoria™

Revoria™ (レヴォリア)は
富士フィルムビジネスイノベーションによる
プロダクション・プリンティング・ソリューションの
ブランドです。

わたしたち富士フィルムビジネスイノベーションは、
皆様と共にプリントビジネスの可能性を広げ、
富士フィルムグループの一員として
真に価値ある製品やサービスの創出に貢献します。